

LED 軒下シーリングライト

東芝 LED 照明器具取扱説明書

対象機種	LEDG87945L(K)-LS	LEDG87945L(S)-LS	LEDG87945L(W)-LS
	LEDG87945N(K)-LS	LEDG87945N(S)-LS	LEDG87945N(W)-LS

このたびは東芝 LED 照明器具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

表示の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	 してはいけないこと（禁止）を示します。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	 しなければならないこと（指示）を示します。

■工事店様へ 施工上のご注意

照明機器の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。
工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

警告



指示

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従い行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書に従ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
- 施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。
- 器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書に従ってください。指定以外の取り付けを行うと器具の落下、感電、火災の原因となります。



禁止

- 交流 100V 正弦波以外の電圧で使用しないでください。上記以外の電圧を加えると、LED 電源ユニット・器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。



アース工事

- アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。（D 種（第三種）接地工事）



改造

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災の原因となります。



禁止

- この器具は海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。
- この器具は腐食性ガス雰囲気のある場所（温泉地など）では使用できません。変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。
- この器具は激しい震動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所には使用できません。絶縁不良、器具落下の原因となります。
- この器具は防雨形です。浴室などの湿気の多い場所では使用できません。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。
- 周囲温度が 35℃ を超える場所では使用しないでください。点灯不良や火災の原因となります。
- 風の強い場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 人がぶら下がったり、踏みつけたり、引っ張ったり、押したりするような場所には取り付けしないでください。落下や破損の原因となります。
- 十分な強度のある面に取り付けてください。落下の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意



指示

- 調光器（当社商品名コントロールクスなど）と組み合わせて使用することはできません。（短寿命の原因）



禁止

- 樹脂系の塗料で塗装された壁などに取り付けますと、雨じみが発生する場合があります。

■お客様へ 使用上のご注意

この器具の電気工事を伴う取り付け、取りはずしには電気工事士の資格が必要です。取り付け、取りはずしは、販売店、工事店に依頼してください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



指示

- お手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- カバーをはずし、再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。取り付けに不備がありますと、水・水気の浸入による絶縁不良、感電、カバーの落下の原因となります。

⚠ 注意



高温注意

- 点灯中及び消灯直後は器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。



禁止

- LED電源ユニットは器具組み込みのため、交換はできません。



禁止

- 金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷をつけたり腐食の原因となります。
- セード、カバー等の樹脂部品には洗剤や薬品等を使用しないでください。部品の劣化の原因となります。

各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

屋外用

防雨形（雨線内取付専用）
天井面取付専用（壁面・床置取付不可）
傾斜天井面取付可（45°まで）

<ボックス取付可※>

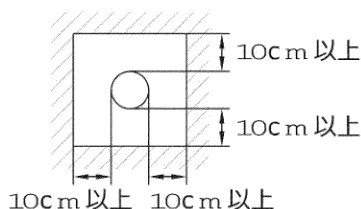
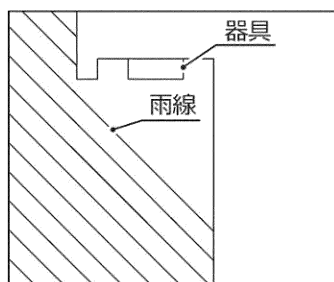
※ボックス取付用ねじは付属していません。

※JIS C 8340適合の66.7mm・83.5mm（1個用）ピッチに取り付けられます。

※ボックス使用時、φ20穴および98mmピッチ取付穴は使用できません。

付属品

- ・絶縁座付木ねじ..... 2本（φ3.8×38mm）
- ・耐熱保護チューブ... 2組（チューブ全長 200mm）



器具周囲面より 10cm 以上
離して取り付けてください。

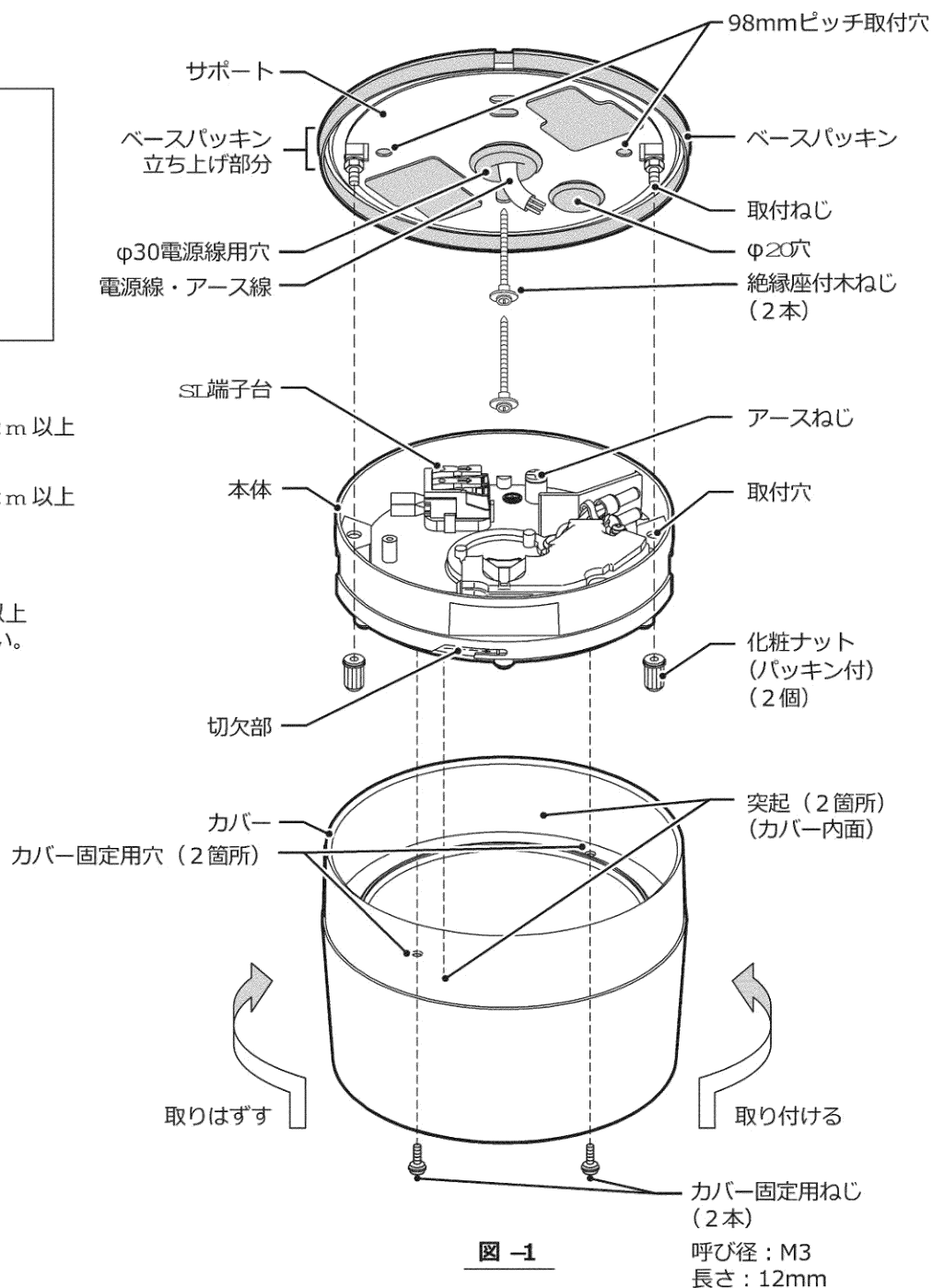
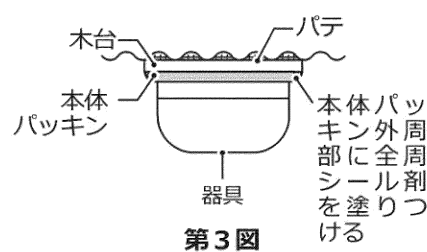
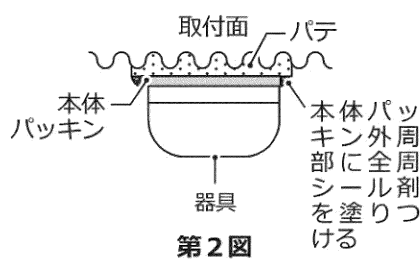
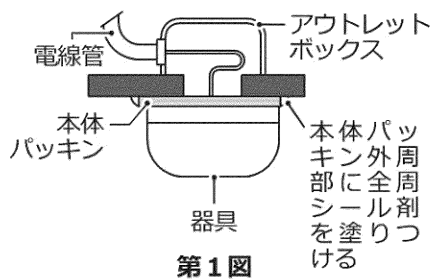


図 -1

器具取り付け時の注意事項

⚠ 注意

- 器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に、必ず密着するようにしてください。
- 器具の取付面は、本体パッキンよりも大きくしてください。(第2図・第3図)
- 裏面から雨が掛かるような取り付けはしないでください。
- 取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか、防水用シーラ剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(第2図・第3図)
- 器具を逆向きに取り付けると、防水性が損なわれます。正しい向きで取り付けてください。
- アウトレットボックスなどに取り付ける場合は、取付用ねじに金属製のワッシャーなどをはめてから器具を取り付けてください。(ボックス取付用ねじは付属していません) (第1図)

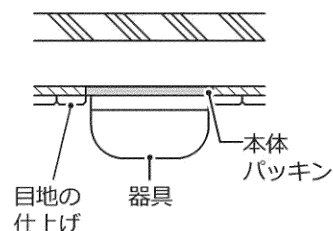
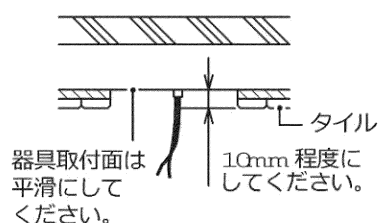
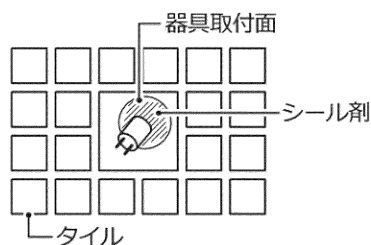


※本体パッキン外周部全周シーラ剤を塗り付けるか、または本体パッキンの取付面全体にシーラ剤を塗り付けてください。また、電源線の引出部にもシーラ剤で防水処理をしてください。

●タイルモジュールの場合

- ①器具の取付面を確保してください。取付面は本体パッキンよりも大きくしてください。(第4図)
 - ・電源線は中央から正確に出してください。
 - ・電源線の引出部は、シーラ剤で防水処理をしてください。
- ②器具の取付面を平滑にしてください。(第5図)

注) 器具の取付面に凸凹があると、器具取付部の本体パッキンの防水性が損なわれ感電の恐れがあります。ご注意ください。
- ③器具の取り付け後、目地部の仕上げをします。(第6図)
 - ・目地仕上げには、目地用モルタルまたは、市販の防水用シーラ剤で仕上げててください。漏水の原因にもなりかねませんので、目地仕上げには十分注意してください。



※防水用シーラ剤はカビの発生防止、耐久性に優れるものをお選びください。



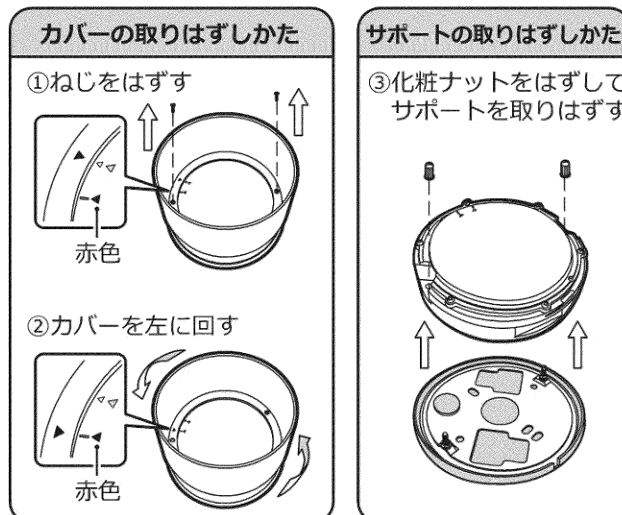
感電、落下の原因となります。
取り付けの際は取付面の凸凹を調べて平滑な所に取り付けてください。
造営物によっては、ポリ台・木台を使用してください。
取り付けが不十分ですと、湿気・水気の浸入による絶縁不良・感電の原因となります。

器具の取り付けかた ※器具取り付けの際は必ず電源を切ってください。

準備 ≫ カバー・サポートを取りはずす

器具取り付けの前に

- ① プラスドライバーでカバー固定用ねじ（2本）を左に回転させてゆるめ、器具から取りはずしてください。
- ② カバーを左側に回して本体から取りはずしてください。
- ③ マイナスドライバーで化粧ナット（パッキン付）（2個）を左に回転させてゆるめ、サポートを本体から取りはずしてください。



1 サポートを取り付ける

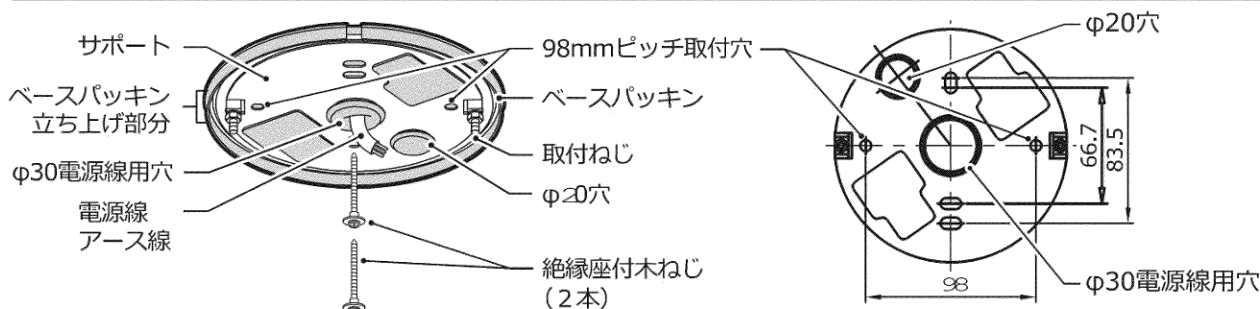


図-2 取付寸法図

- ① 図-2の取付寸法図を参照し、取付面より電源線を引き出してください。（図-2）
- ② サポートの電源線用穴から電源線とアース線を必ず引き出してください。
送り配線をする場合も、サポートの電源線用穴から接続線を引き出してください。
- ③ サポートを付属の絶縁座付木ねじ（2本）で確実に取り付けてください。



注意

- ベースパッキンがサポートに取り付けられているか確認してください。
- 取り付けの際に、電源線とアース線をベースパッキンと取付面との間ではさまないように注意してください。
- 木ねじを取り付ける際に、木ねじを締め過ぎないように注意してください。締め過ぎるとサポートの反り上がりの原因となります。
- サポートを取り付けた状態で、サポートが反り上がっている場合は、98mmピッチ取付穴に木ねじ（別途用意）を追加して取り付けてください。（図-2）

2 端子台に電源線を接続する（D種（第3種）接地工事を行う）

- ① 電源線の外被覆を備え付けの耐熱保護チューブ（φ6）に合わせ、むいてください。（212±2mm）（図-3・図-4）
 - ② 電源線の被覆を SL端子台のストリップゲージに合わせ、むいてください。（8～9mm）（図-3・図-5）
 - ③ 電源線に備え付けの耐熱保護チューブを被せてください。（図-4）
 - ④ 電源線を SL端子台に確実に奥まで差し込んでください。（図-5）
- ※送り配線容量は10Aまで。接続台数は当器具含め5台まで。
- ⑤ アース線をアースねじに取り付けてください。

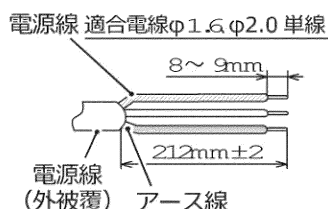


図-3 電源線皮むき寸法

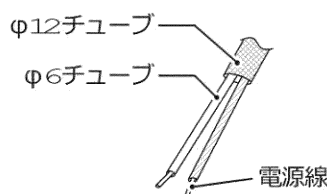


図-4 耐熱保護チューブの取り付け方

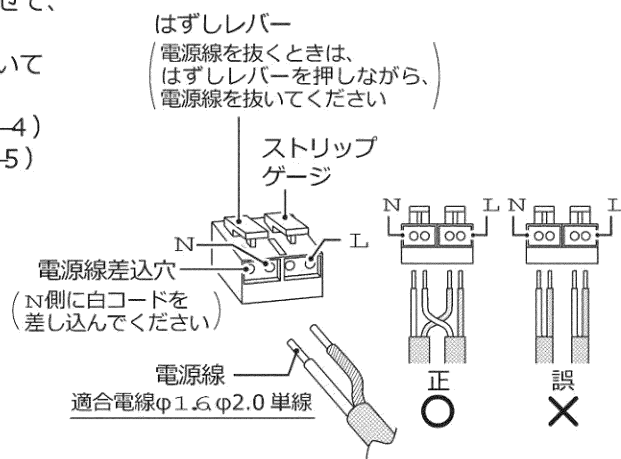
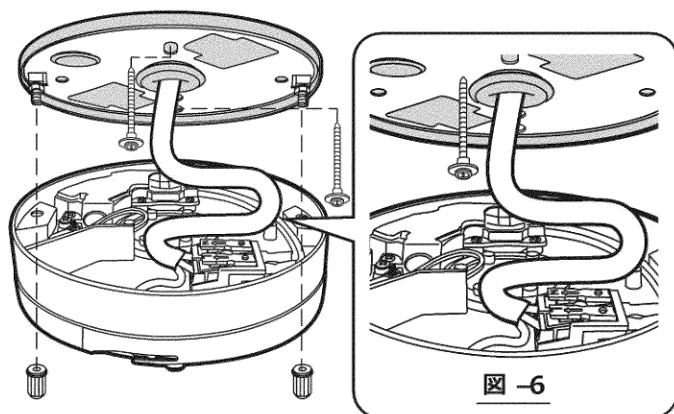


図-5 SL端子台

3 本体を取り付ける



①サポートの取付ねじと本体の取付穴位置を合わせ、マイナスドライバーを使用して化粧ナット（パッキン付）（2個）でサポートに本体を取り付けてください。

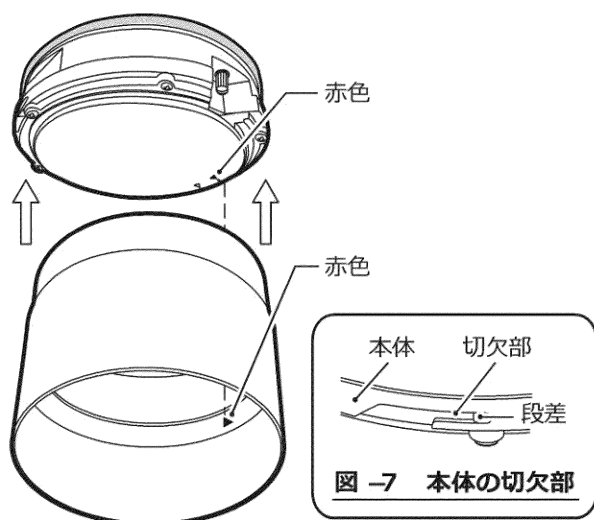
※サポートに本体を取り付ける前に、あらかじめ電源線とアース線を電源線用穴に向けて、曲げ癖を付けておいてください。（図-6）

ベースパッキンの立ち上げ部分に本体が乗り上げないようにしてください。

4 本体にカバーを取り付ける

①本体にカバーを取り付ける

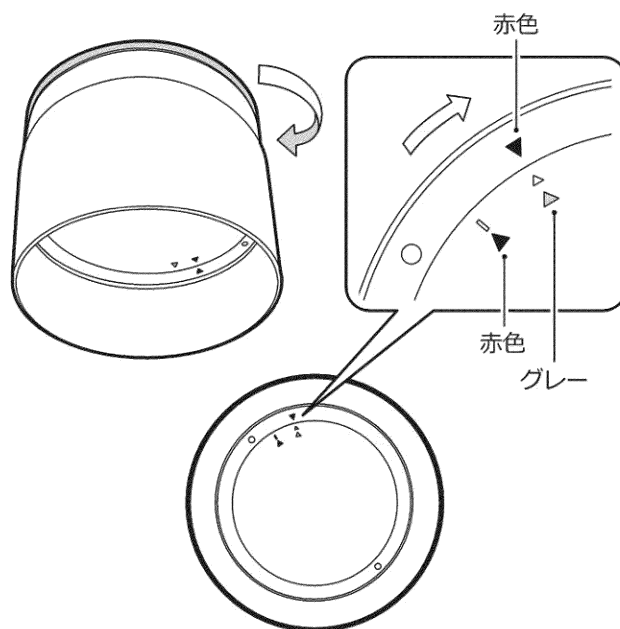
セード側の赤色▲マークとカバー外面側の赤色▲マークを合わせてください。



カバーを本体に被せる際に、ベースパッキンの立ち上げ部分がカバーの内側に入ってしまうように注意してください。（図-1）

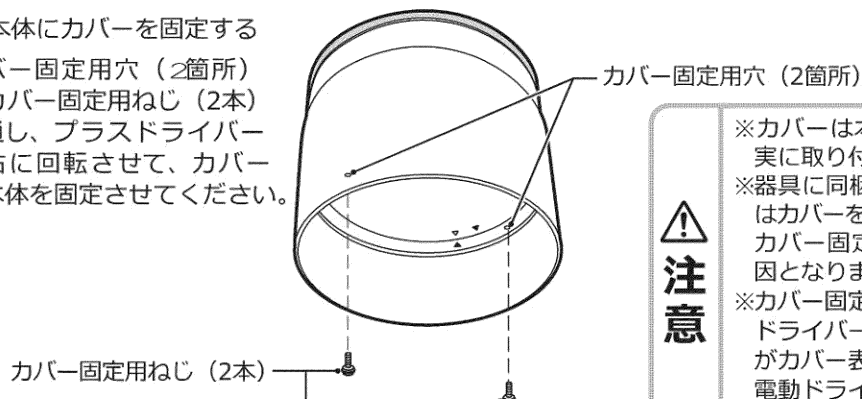
②カバーを右に回して仮固定する

カバー外面側の赤色▲マークがセード側のグレー色▲マークの位置に合わさって完全に止まるまで、カバーを右側に回して取り付けてください。



③本体にカバーを固定する

カバー固定用穴（2箇所）にカバー固定用ねじ（2本）を通し、プラスドライバーで右に回転させて、カバーと本体を固定させてください。



⚠
注意

※カバーは本体側の▲印位置と合わせて回し、確実に取り付けてください。

※器具に同梱されているカバー固定用ねじ（2本）はカバーを取り付けたあと確実に締めてください。カバー固定用ねじを締めないとカバー落下の原因となります。

※カバー固定用ねじ（2本）の締め込みは、普通のドライバー（手締め）で行い、半透明の○リングがカバー表面に触れる程度の位置で止めてください。電動ドライバーを使用して締め込み過ぎると、カバーにヒビ・割れ等が発生する恐れがあります。

使用上のご注意

- LED光源にはバツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 照射距離が短い場合や照射面等によって光ムラが気になる場合がありますのでご了承ください。
- 交流 100V専用器具です。直流電流や交流 200Vでのご使用はできません。
- LED光源は器具組み込みのため、交換できません。

故障ではありません

- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

お手入れのしかた

⚠注意 お手入れの際は必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となります。

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

⚠警告	⚠注意
●器具に直接水をかけて洗わないでください。 水気の浸入による器具の破損、感電などの原因となります。	●器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。 変色、破損の原因となります。

仕様

対象機種	LEDG87945L(K)-LS LEDG87945L(S)-LS LEDG87945L(W)-LS	LEDG87945N(K)-LS LEDG87945N(S)-LS LEDG87945N(W)-LS
定格電源電圧 (V)	AC100	
電源周波数 (Hz)	50/60共用	
消費電力 (W)	7.8	7.3
入力電流 (A)	0.130	0.122
光色	電球色 (2700K)	昼白色 (5000K)

※LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期に測定した値の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間です。

⚠安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
設置して8～10年*経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
※使用条件は周囲温度 30℃、1日 10時間点灯、年間 3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による。)
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
※「安全チェックシート」は当社ホームページに記載しています。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規定をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規定』をご確認ください。

メーカー保証規定: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm
修理サービス規定: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または
弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ
時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規定



修理サービス規定

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。
但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、
1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の
半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
携帯電話 046-862-2772 (通話料：有料)
FAX 0570-600-661 (通話料：有料)
ホームページアドレス <https://www.tltco.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への
回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社

や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

日本国内専用
Use only in Japan